



平成28年5月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年4月8日

上場会社名 三光合成株式会社  
 コード番号 7888 URL <http://www.sankogosei.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役上級執行役員  
 四半期報告書提出予定日 平成28年4月12日  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 黒田 健宗  
 (氏名) 芹川 明

TEL 0763-52-7105

上場取引所 東

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年5月期第3四半期の連結業績(平成27年6月1日～平成28年2月29日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年5月期第3四半期	39,976	6.9	1,713	△4.9	692	△56.8	510	△59.4
27年5月期第3四半期	37,408	16.5	1,801	15.8	1,601	31.5	1,257	40.5

(注)包括利益 28年5月期第3四半期 △704百万円 (—%) 27年5月期第3四半期 2,050百万円 (161.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年5月期第3四半期	21.02	—
27年5月期第3四半期	60.12	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年5月期第3四半期	42,055	14,118	32.0	528.19
27年5月期	45,407	13,049	26.6	576.79

(参考)自己資本 28年5月期第3四半期 13,461百万円 27年5月期 12,066百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年5月期	—	4.00	—	5.00	9.00
28年5月期	—	5.00	—	—	—
28年5月期(予想)	—	—	—	5.00	10.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年5月期の連結業績予想(平成27年6月1日～平成28年5月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	56,000	11.6	2,200	△5.9	1,300	△30.7	900	△33.8	36.40

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有  
新規 1社(社名)「SANKO SEKISUI JRG TOOLING PRIVAT LTD.」
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	28年5月期3Q	25,688,569 株	27年5月期	21,121,569 株
② 期末自己株式数	28年5月期3Q	202,874 株	27年5月期	202,146 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	28年5月期3Q	24,267,408 株	27年5月期3Q	20,921,861 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく監査手続きの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく財務諸表の監査手続きは終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、円高株安となり企業の収益や個人消費は鈍化してきており、中国経済の減速、米国利上げ後の新興国での通貨安も影響し先行きの不透明感は拭えません。

一方、海外におきましては、米国経済は好調に推移しておりますが、アセアンをはじめとする新興国の景気は足踏み状態が続いております。また、欧州・中東での地政学リスクも高まり先行きの不透明感が増してきております。

このような経済環境の中、当社グループでは前連結会計年度に引き続き、生産効率の向上を図り労務費や経費の圧縮に努め、原価低減活動を積極的に進めてまいりました。国内におきましては、前連結会計年度から子会社化した株式会社積水工機製作所と連携し金型受注の強化を進めております。

海外につきましては、米国子会社のSANKO GOSEI TECHNOLOGIES, USA, INC. の連結子会社化により、当社グループが改めて米国での事業展開をする上で大きな役割を担っていくこととなります。

また、インドの金型会社SANKO SEKISUI JRG TOOLING INDIA PRIVATE LTD. を連結子会社化したことにより、アセアン地域を主体とした金型の生産拠点にしてまいります。

なお、平成28年4月1日付けで、株式会社積水工機製作所はエスバンス株式会社、SANKO SEKISUI JRG TOOLING INDIA PRIVATE LTD. はSANKO SVANCE JRG TOOLING INDIA PRIVATE LTD. に各々商号変更しました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は39,976百万円（前年同期比6.9%増）となりました。利益面におきましては、営業利益は1,713百万円（前年同期比4.9%減）、経常利益は為替差損の計上もあり692百万円（前年同期比56.8%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は510百万円（前年同期比59.4%減）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

#### ① 日本

成形品部門においては、車両用機能部品の減収が情報・通信機器部品の増収をカバーしきれず減収となりました。また、金型部門では株式会社積水工機製作所の連結子会社化により増収となりました。この結果、売上高は17,259百万円（前年同期比17.7%増）となり、セグメント利益は1,201百万円（前年同期比15.3%減）となりました。

#### ② 欧州

車両用内外装部品の売上が大幅に増加し、売上高は5,494百万円（前年同期比11.1%増）となり、セグメント利益は455百万円（前年同期比5.6%増）となりました。

#### ③ アジア

タイ及びインドネシアにおいて、通貨安による国内消費の停滞や中国経済の減速等の影響を受けて、車両用内外装部品の受注減もあり、売上高は13,388百万円（前年同期比18.9%減）となり、セグメント損失は61百万円（前年同期はセグメント利益416百万円）となりました。

#### ④ 北米

メキシコでの車両用内外装部品の受注増加と、SANKO GOSEI TECHNOLOGIES, USA, INC. の連結子会社化もあり、売上高は3,834百万円（前年同期比196.9%増）となり、セグメント利益は440百万円（前年同期はセグメント損失0百万円）となりました。

なお、部門別の売上の状況は、次のとおりであります。

部門別		当第3四半期連結累計期間 (自 平成27年6月1日 至 平成28年2月29日)	
		売上高(百万円)	前年同四半期比(%)
成形品	情報・通信機器	5,558	5.9
	車両	24,667	△5.5
	家電その他	1,303	△1.8
成形品計		31,529	△3.5
金型		8,446	78.4
合計		39,976	6.9

## (2) 財政状態の分析

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は、42,055百万円（前連結会計年度末比3,351百万円減）となりました。流動資産は22,236百万円と前連結会計年度末比1,419百万円減少しておりますが、主に受取手形及び売掛金の減少712百万円並びに現金及び預金の減少388百万円によるものであります。固定資産は19,819百万円と前連結会計年度末比1,932百万円減少しておりますが、これは、有形固定資産の減価償却等による減少1,801百万円が主な要因であります。

当第3四半期連結会計期間末の負債合計は、27,937百万円（前連結会計年度末比4,420百万円減）となりました。これは、主に支払手形及び買掛金の減少1,244百万円、短期借入金の減少3,141百万円及び長期借入金の増加1,413百万円によるものであります。

当第3四半期連結会計期間末の純資産合計は、14,118百万円（前連結会計年度末比1,068百万円増）となりました。これは、主に増資等による資本金及び資本剰余金の増加2,001百万円、利益剰余金の増加278百万円及び為替換算調整勘定の減少923百万円によるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年5月期通期の業績予想につきましては、最近の業績動向を踏まえ、通期の業績予想を修正いたしました。詳細につきましては、本日（平成28年4月8日）公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

## (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

「SANKO SEKISUI JRG TOOLING INDIA PRIVATE LTD.」は、株式の追加取得により第2四半期連結会計期間末より、持分法の適用範囲から除外し、連結の範囲に含めております。

## (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

## (税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

## (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

## 会計方針の変更

## (企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。）及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。）等を第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更しております。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更しております。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組換えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の税金等調整前四半期純利益は11,168千円減少しております。また、当第3四半期連結会計期間末の資本剰余金が11,168千円増加しております。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年5月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年2月29日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	5,515,246	5,126,501
受取手形及び売掛金	12,138,861	11,426,233
商品及び製品	1,729,390	868,386
仕掛品	1,562,364	2,203,168
原材料及び貯蔵品	766,805	674,348
その他	1,953,406	1,947,333
貸倒引当金	△10,521	△9,925
流動資産合計	23,655,554	22,236,047
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	6,584,002	6,067,602
機械装置及び運搬具(純額)	6,970,479	6,529,587
工具、器具及び備品(純額)	1,881,252	1,301,186
土地	4,272,321	4,085,562
建設仮勘定	259,867	182,171
有形固定資産合計	19,967,923	18,166,109
無形固定資産		
のれん	335,345	369,480
その他	478,483	487,097
無形固定資産合計	813,828	856,577
投資その他の資産		
投資有価証券	670,876	510,529
その他	329,031	315,982
貸倒引当金	△29,580	△29,580
投資その他の資産合計	970,328	796,931
固定資産合計	21,752,080	19,819,619
資産合計	45,407,634	42,055,666

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年5月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年2月29日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	10,675,650	9,431,293
短期借入金	5,919,299	2,777,795
1年内返済予定の長期借入金	1,778,956	2,338,906
1年内償還予定の社債	520,000	420,000
未払法人税等	425,599	142,543
賞与引当金	97,500	51,227
役員賞与引当金	31,845	—
工事損失引当金	16,656	16,543
その他	3,754,697	3,611,115
流動負債合計	23,220,203	18,789,426
固定負債		
社債	820,000	610,000
長期借入金	5,095,830	5,949,395
役員退職慰労引当金	23,400	23,200
退職給付に係る負債	549,023	426,092
その他	2,649,835	2,139,370
固定負債合計	9,138,089	9,148,057
負債合計	32,358,293	27,937,484
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,890,800	2,885,734
資本剰余金	1,742,393	2,748,496
利益剰余金	8,436,202	8,714,476
自己株式	△42,541	△42,836
株主資本合計	12,026,854	14,305,872
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,380	△2,921
繰延ヘッジ損益	19	—
為替換算調整勘定	161,993	△761,893
退職給付に係る調整累計額	△123,976	△79,814
その他の包括利益累計額合計	39,417	△844,629
非支配株主持分	983,069	656,938
純資産合計	13,049,341	14,118,182
負債純資産合計	45,407,634	42,055,666



## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年6月1日 至平成27年2月28日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年6月1日 至平成28年2月29日)
売上高	37,408,491	39,976,651
売上原価	31,655,526	33,648,002
売上総利益	5,752,964	6,328,648
販売費及び一般管理費	3,951,492	4,615,140
営業利益	1,801,471	1,713,508
営業外収益		
受取利息及び配当金	7,541	15,484
持分法による投資利益	48,786	—
為替差益	15,869	—
受取補償金	—	28,528
その他	120,833	49,812
営業外収益合計	193,030	93,825
営業外費用		
支払利息	335,918	307,117
持分法による投資損失	—	16,534
為替差損	—	563,687
その他	57,471	227,875
営業外費用合計	393,390	1,115,216
経常利益	1,601,111	692,116
特別利益		
固定資産売却益	25,390	2,169
投資有価証券売却益	—	2,854
保険金収入	—	198,697
段階取得に係る差益	—	72,483
特別利益合計	25,390	276,204
特別損失		
固定資産除却損	11,535	24,364
固定資産売却損	50	3,345
スワップ差損	6,724	31,976
特別退職金	—	159,858
災害損失	—	59,283
その他	12,000	4,000
特別損失合計	30,310	282,829
税金等調整前四半期純利益	1,596,191	685,491
法人税等	348,001	396,428
四半期純利益	1,248,190	289,063
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△9,662	△221,236
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,257,852	510,299

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成26年6月1日 至 平成27年2月28日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成27年6月1日 至 平成28年2月29日)
四半期純利益	1,248,190	289,063
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△452	△4,302
繰延ヘッジ損益	△2	△19
為替換算調整勘定	721,137	△925,551
退職給付に係る調整額	42,152	44,162
持分法適用会社に対する持分相当額	39,915	△107,823
その他の包括利益合計	802,749	△993,535
四半期包括利益	2,050,940	△704,471
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,935,647	△373,746
非支配株主に係る四半期包括利益	115,292	△330,724

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成27年7月29日を払込期日とする公募による新株発行により、資本金及び資本準備金がそれぞれ735,707千円増加しております。また、平成27年7月29日を払込期日とする第三者割当による新株式発行により、資本金及び資本準備金がそれぞれ155,020千円増加しております。さらに、平成27年8月26日を払込期日とする第三者割当による新株式発行により、資本金及び資本準備金がそれぞれ104,207千円増加しております。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間において資本金及び資本準備金がそれぞれ994,934千円増加し、当第3四半期連結会計期間末において資本金が2,885,734千円、資本準備金が2,737,328千円となっております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第3四半期連結累計期間(自平成26年6月1日至平成27年2月28日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	日本	欧州	アジア	北米	計		
売上高							
外部顧客への売上高	14,661,969	4,946,311	16,509,055	1,291,153	37,408,491	—	37,408,491
セグメント間の内部売上高 又は振替高	2,436,200	9,442	1,069,755	223	3,515,622	△3,515,622	—
計	17,098,170	4,955,754	17,578,810	1,291,377	40,924,113	△3,515,622	37,408,491
セグメント利益又は損失(△)	1,417,716	431,791	416,167	△409	2,265,265	△463,794	1,801,471

(注) 1. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去△96,910千円及び各報告セグメントに配分していない  
  全社費用△366,883千円であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

## II 当第3四半期連結累計期間(自平成27年6月1日至平成28年2月29日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	日本	欧州	アジア	北米	計		
売上高							
外部顧客への売上高	17,259,742	5,494,763	13,388,083	3,834,062	39,976,651	—	39,976,651
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,654,721	5,176	726,892	200,744	2,587,535	△2,587,535	—
計	18,914,464	5,499,939	14,114,976	4,034,807	42,564,186	△2,587,535	39,976,651
セグメント利益又は損失(△)	1,201,321	455,804	△61,730	440,442	2,035,837	△322,329	1,713,508

(注) 1. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去122,333千円及び各報告セグメントに配分していない  
 全社費用△444,662千円であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。